

会員だより



不発弾探査、備えあれば憂い無し!

北部国道事務所発注の『平成 25 年度読谷道路 1 号橋下部工工事』についてご紹介します。

沖縄戦終了から満 70 年になるとうる今日、県内では今なお不発弾等の発見・発掘が絶えません。改めて事前の磁気探査の必要性を考えさせられます。

ご承知のとおり、戦後の盛土箇所や、以前磁気探査を実施した箇所でも不発弾などが発見された事例があり、工事等によって偶然に見つめられた発見弾が大半を占めています。

結論から申し上げますと、戦後盛土とする場所から不発弾「8 インチ砲弾」を発見しました。

なぜ、戦後盛土から不発弾を発見する事に至ったのか手順を記述します。

①協力会社が地元会社であったことから作業計画の打合せ時に「同場所一帯は先の大戦で艦砲射撃が行なわれた」との情報提供が得られた。

②米軍施設返還前には隣接区に弾薬庫があった。

以上の理由で磁気探査を実施する事にしました。発見場所はA2橋台、P2橋脚施工の工事用道路構築に伴う沢部斜面を盛土作業とする場所です。

盛土を進めるにあたり段切り（一部切り土）から行いますが、自主的に簡易探査を行ったところ、不発弾を発見しました。

牧港建設 株式会社 代表取締役社長 平良 平長



慎重に磁気探査!

自衛隊員による処理作業!

不発弾の存在を知らずに作業していたら、作業関係者のみならず付近住民をも巻き込む大惨事は避けられなかったと、今でも日々思います。作業着手前の磁気探査の重要性を、改めて痛感しました。

今回、支部だよりを通じて関係者の皆様にご理解頂きたいことは、

一、地域関係者からの情報を的確に捉えて、作業着手して頂きたい。

二、戦前だから、戦後だからと「既成概念・固定観念」にとらわれない。

常に危機感を持ち、事故根絶を目指して作業に従事されて行くことを願います。

安全第一とする“指差し呼称” [不発弾探査、備えあれば・憂い無し]

【現場代理人 饒平名 知勝】

会員だより



水で固まるアスファルト合材!

忙しい年度末を終え、あっという間にゴールデンウィーク。その後にはあのジメジメと気持ちの悪い梅雨が・・・

今回は、弊社前田道路(株)の袋詰め常温合材を紹介させていただきます。弊社では、水で固まる不思議なアスファルト合材『マイルドパッチ』を販売しております。アスファルトが水で固まる?水と油、相反するものをかけて固まるなんてありえない!

私も弊社の商品ながら初めは信じられませんでした。しかし、それが不思議と固まるのです。いまだに不思議なのですが・・・

施工は簡単! 施工箇所のゴミを取り除いたらマイルドパッチを袋から取り出して敷き均し、水をかけて転圧するだけ。ちょっとしたポットホールや住宅の外構で使用する場合には足で踏む程度でも十分です。散水直後から硬化が始まり一時間程度で交通開放でき、加熱合材並みの耐久性も持っています。

これから迎える梅雨や、夏の大雨時のポットホ

前田道路株式会社 沖縄営業所所長 山本 英嗣

ール等の修繕にいかがでしょうか? 会員の皆様のお役に立てればと思います。

弊社のパンフレット
ご入り用の方は連絡を!



活動報告・トピックス



①第104回 道路美化・清掃活動 全国的に荒れ模様、活動は中止

4月21日(火)に、20社、21名の参加者が第104回道路美化清掃活動を行う予定でしたが、あいにくの空模様。皆さんが集まりだした頃に、ぽつりぽつりと雨が降り出しました。それほど大雨ではないにしろ、作業中に大降りになると大変なので、活動中止を決断。皆さんにはせっかく集まって頂きましたが、残念でした。来月も参加して下さい。中止を決定したところで、その後ずっと雨は降りませんでした。



企画・広報委員 (株) NIPPO 沖縄統括事業所長 齋藤 毅

道建協のグスーヨー、チューウガナピラ!(皆さんこんにちは) 沖縄経験 2 年生になりました株式会社 NIPPO 沖縄統括事業所の齋藤です。

会員の皆様にはいつもお世話になりましてありがとうございます。

当事務所は増大するニーズに対応するため、この4月から新しく営業部長の平川と総務担当の平岡が着任しました。

新しく着任した2名には活躍を期待するところですので、私同様よろしくお願い致します。

特に総務担当の平岡は沖縄が初めてということなので沖縄の風土や文化に早く慣れてもらい、仕事のみならずプライベートでも沖縄を満喫してもらいたいと思います。

平成 27 年度も、無事故・無災害の継続(ゼロ災の達成)を念頭に置き、新しく着任した2名を加え更なる飛躍を目指し、また建設業という仕事を通して微力ながら地域の発展に貢献できるように、事務所一丸となって頑張っていきたいと思っております。最後になりますが、会員の皆さんと一緒に沖縄を盛り上げていきましょう!!



【ミッチーと一緒に、向かって左が平川、右が平岡】



今月の予定

- ①第1回安全委員会 支部会議室
5月7日(木)11:00 ~ 13:00
- ②第1回技術・積算委員会 支部会議室
5月8日(火)11:00 ~ 13:00
- ③第1回企画・広報委員会 支部会議室
5月12日(火)11:00 ~ 13:00
- ④第105回 道路美化・清掃活動
後半グループ 5月19日(火)10:00 ~

「道の駅」の進化、地域の拠点として

国土交通省では、このほど、重点「道の駅」制度を創設しました。先駆的なモデル「道の駅」を選定し、関係機関と連携して計画段階から総合的に支援することにより地域活性化の促進を図ろうとするものです。もともと「道の駅」はドライバーが立ち寄りやすい、休憩施設として生まれ、その後、情報提供機能、地域連携を有する休憩施設として整備が進められてきました。今日では「道の駅」自体が目的地となり、町の特産物や観光資源を活かして人を呼び、地域に仕事を生み出す核へと独自に進化しています。

本制度では、地域外から活力を呼び「ゲートウェイ型」と地域の元気をつくる「地域センター型」の二つを今後の方向性としてあげています。

「ゲートウェイ型」では各地の特産物や観光資源を活かして観光客を呼び込むことが、地方経済に与える波及効果が大きいとしています。また、免税店や外国人案内所等の機能強化も求められています。

「地域センター型」の狙いは、人口減少の中、医療や、福祉、買い物、燃料補給等の日常サービスの提供の他、高度な防災機能も「小さな拠点」に集約化し、維持を図っていく必要がある、「道の駅」はその核になると期待されています。

沖縄県でも、糸満市西崎町「道の駅」にアーケードと糸満市の情報発信を行う情報館が完成しました。アーケードの整備によって、雨天時の施設間移動とイベント開催が可能となるほか情報館は防災機能も有していて、災害時は一時避難所の役割を担うことが出来ます。ますます進化する「道の駅」、次はどんな変容を見せるか楽しみです。(編集室 N・S)



「道の駅」いとまん。防災機能を備え観光情報を発信する情報館!



各施設をつなぐアーケード!

